

大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校甲府校学則

第1章 総則

(目的)

第1条 本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、簿記・税務会計、情報処理、医療事務などの商業実務分野及び福祉人材育成など教育・社会福祉分野の専門教育を施し、人格の陶冶を行い、もって関連産業に従事する有為な人材育成を目的とする。

(名称)

第2条 本校は、大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校甲府校という。

(位置)

第3条 本校の位置を、山梨県甲府市丸の内二丁目8番8号に置く。

(自己点検・評価)

第4条 本校は、その教育の一層の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、本校における教育活動等の状況について、自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価の実施に関し、必要な事項は別に定める。

第2章 課程、学科、修業年限、定員及び休業日

(課程・学科・修業年限・定員)

第5条 本校の課程、学科及び修業年限並びに定員は次のとおりとする。

課程名	学科名	昼夜別	修業年限	入学定員	総定員
商業実務専門課程	経理本科2年制学科	昼	2年	100名	200名
	ビジネス専攻学科		1年	10名	10名
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科		2年	20名	40名
	こども保育学科		2年	40名	80名
	保育専攻学科		1年	10名	10名
合 計				180名	340名

なお、介護福祉学科、こども保育学科、保育専攻学科における入学定員の学級数は1学級である。

2 学生は前項に規定する各学科の修業年限の2倍を超えて在籍することができない。

(学年・学期の終始期)

第6条 本校の学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

2 本校の学期は、次のとおりとする。

前期 4月1日から 9月30日まで

後期 10月1日から 3月31日まで

3 前項に規定する学期のうち授業を行う期間については、前半期と後半期に分けることができるものとする。

(休業日)

第7条 本校の休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律で規定する日
- (3) 夏季休業
- (4) 冬季休業
- (5) 春季休業

2 第1項第3号から第5号に規定する休業期間は、校長が別に定める。

- 3 校長が必要であると認める場合は、特別の休業日を定めることができる。
- 4 校長が必要であると認める場合は、休業日であっても授業（実習を含む）を行う日とすることができる。
- 5 非常変災その他急迫の事情があるときは、臨時に授業を行わないことがある。

第3章 教育課程、授業時間及び教職員組織

（教育課程・授業時間）

第8条 本校の教育課程及び授業時間は、別表のとおりとする。

（授業の終始時刻）

第9条 本校の始業時刻は午前9時30分、終業時刻は午後6時30分とする。

（教職員組織）

第10条 本校に次の教職員を置く。

- (1) 校長 1名
- (2) 教員 13名以上
- (3) 助手 若干名
- (4) 事務職員 2名以上

2 校長は校務を掌り、所属教職員を監督する。

第4章 入学、転科、転学、再入学、休学、復学

（入学資格）

第11条 本校の入学資格は、次のとおりとする。

- (1) 高等学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者
- (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (7) 修業年限が3年の専修学校の高等課程を修了した者
- (8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学したものであって、専修学校において、高等学校を卒業した者に準ずる学力があると認められた者
- (9) その他専修学校において、高等学校を卒業した者に準ずる学力があると認められた者

（入学時期）

第12条 本校の入学時期は、毎年4月1日とする。

（入学手続き・許可）

第13条 本校の入学手続きは、次のとおりとする。

- (1) 本校に入学しようとする者は、本校の定める入学願書、その他の書類及び第31条に規定する入学検定料を添えて出願しなければならない。
- (2) 前号の手続きを終了した者に対して選考し、入学者を決定する。
- (3) 本校に入学を許可された者は、所定の日までに第31条に定める入学金を添え手続きをとらなければならない。

（転科・転学）

第14条 学生が他の学科等への転科を希望する場合には、在籍校の校長に願い出て許可を得なければならない。

2 学生が他の学校等への転学を希望する場合には、在籍校の校長に願い出て許可を得なければならない。

- 3 転科、転学の時期については、校長の許可するところによりこれを認める。
- 4 他の学科等に転科した者の履修時間、履修単位については、元の学科の全部又は一部を校長の許可するところにより引き継ぐことができる。

(編入学・再入学)

第15条 次の各号の一に該当する者で、本校に入学を希望する者があるときは、選考の上、校長は相当年次に入学を許可することができる。

- (1) 専門学校を卒業し、又は退学した者で編入学を希望した者
- (2) 第29条の規定により、本校の一学科を退学した者で、本校に再入学を希望した者

2 編入学又は再入学した者の在学年数及び単位数については、元の学校の在学年数、単位数の全部又は一部を校長の許可するところにより算入することができる。

(休学・復学)

第16条 疾病、その他やむを得ない理由によって15日以上修学することができない者は、校長の許可を得て休学することができる。

- 2 休学の期間は1年以内とする。
- 3 前1項の者は休学の理由が消滅した場合は、校長に届け出て、許可を得て復学することができる。

第5章 授業の履修、単位、学業成績及び卒業等

(授業の履修)

第17条 授業は、講義・演習・実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用で行うものとする。

2 複数の課程、学科、クラスで合同授業科目又は同一内容の授業を行う場合、授業等に支障をきたさない限り、合同授業又は合併授業を行うことがある。ただし、介護福祉学科の領域『介護』に係る合併授業は行わない。

3 授業科目の履修において、第24条の規定を満たさない者には補講授業を行うことがある。なお、補講授業は授業科目の未出席授業を行い、授業科目の出席時間とすることができる。また、別表で定める学年別授業科目の定めに関係なく、卒業までの間に行うこととする。

(単 位)

第18条 授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学習を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

- (1) 講義及び演習にあつては15時間から30時間をもって1単位とする。
- (2) 実習・実技にあつては30時間から45時間をもって1単位とする。

(試験等)

第19条 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。なお、本校において必要と認められた場合に限り、追試験又は再試験等を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対して行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。

2 各授業科目の成績評価方法については別に定める。

(学業成績)

第20条 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とする。

2 授業科目の成績は、前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりG P (Grade-Point) を与える。

(単位の授与)

第21条 授業科目を履修し、各科目の成績を判定の上、秀、優、良、可を取得した学生には所定の単位を与える。

2 介護福祉学科、こども保育学科の履修においては、次に掲げる3項目に基づき認定する。

(1) 授業科目ごとの出席率が基準を満たしている者

授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない者、及び介護実習、保育実習の出席時間数が履修時間数の5分の4に満たない者は、履修の認定を行わないこととする。

(2) 授業科目ごとの学業成績で合格を修めた者

(3) 実習先施設で実習要件を満たしたと評価された者

(他の大学・専修学校等における授業科目の履修等)

第22条 教育上有益と認める時は、校長の認めるところにより、他の大学・専修学校等における授業科目の履修を、本校における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項により本校専門課程における授業科目の履修とみなすことができる単位数は、転学等の場合を除き、本校専門課程の修了に必要な単位数の2分の1を超えないものとする。

(進 級)

第23条 進級の認定は、各学科の各学年において定める授業時間の履修及び単位の修得を行い、かつ、出席状況等学習姿勢も考慮の上、進級判定委員会にて審査を行う。

(卒業の認定)

第24条 卒業の認定は、第5条に規定する修業年限以上在学して、以下に定める授業時数以上を履修し、かつ以下に定める単位数以上を修得し、卒業審査に合格した者について、校長が行う。

(1) 経理本科2年制学科は1, 700時間(62単位)

(2) ビジネス専攻学科は800時間(30単位)

(3) 介護福祉学科は2, 074時間(68単位)

(4) こども保育学科は1, 710時間(72単位)

(5) 保育専攻学科は800時間(30単位)

2 前項に規定する卒業の認定は、最終学年の終わりに行う。

(称号の授与)

第25条 第24条の規定により下記学科を修了した者には、次のとおり称号を授与する。

(1) 商業実務専門課程経理本科2年制学科は、専門士(商業実務専門課程)の称号を授与する。

(2) 教育・社会福祉専門課程介護福祉学科は、専門士(教育・社会福祉専門課程)の称号を授与する。

(3) 教育・社会福祉専門課程こども保育学科は、専門士(教育・社会福祉専門課程)の称号を授与する。

(注意文書)

第26条 欠席、遅刻、早退(以下、欠席等)が多く授業履修に支障をきたす恐れがある者に対しては注意文書を以て指導を行う。

2 注意文書による指導はその欠席等の日数により、段階的に訓告、戒告とする。

第6章 ほう賞、懲戒及び退学

(ほう 賞)

第27条 成績優秀な学生に対しては、校長はこれをほう賞することがある。

(懲 戒)

第28条 学生が本校の規則、命令に背きもしくは本校の秩序を乱し、または学生としての本分に反する行為があった場合には、校長はこれを懲戒することができる。

2 前項に規定する懲戒種類は訓告、戒告、停学および退学とする。

3 前項に規定する退学は次の各号の一に該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込がないと認められる者

(2) 学力劣等で成業の見込がないと認められる者

(3) 正当な理由がなくて出席が常でない者

- (4) 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者
- (5) 故意に学校の諸設備を破損、損傷させた者。なお、この者は諸設備の復元義務を負わなければならない。

4 本条2項に規定する停学に係る期間は出席時間数には算入しない。

(退学)

第29条 自主退学しようとする者は、その事由を記し、校長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第30条 校長は、次の各号の一に該当する者については、これを除籍する。

- (1) 第5条2項に規定する在籍期間を超えた者。
- (2) 第16条3項に規定する休学期間を超えた者。
- (3) 学費の納付を怠り、督促を受けてなおこれを納入しない者。
- (4) 第29条の事由で退学する者で、所定の期間内に退学願いを提出しない者

第7章 入学金、授業料、特待生、その他

(納付金)

第31条 本校の入学検定料、入学金、授業料等は、別表のとおりとする。

2 前項に規定する納付金は、年度の更新に伴い改定することができる。

3 納付済の授業料その他の納付金は、原則としてこれを返還しない。ただし、入学手続完了から入学年の始期の前日までに、入学辞退を希望する場合は、本校所定の学費返還手続により納入金額から入学金を除いた額を返還する。

(納入及び納入の特例)

第32条 学生がその在籍中は、出席の有無にかかわらず、授業料を所定の期日までに納入しなければならない。

2 学生が休学したときは、前項の規定にかかわらず、休学期間中の授業料を免除することがある。

3 特別の事由のある場合には、別に定めるところにより、授業料の全部又は一部を免除することがある。

(滞納)

第33条 正当な理由がなく、かつ、所定の手続きを行わずに授業料を1か月以上滞納し、その後においても納入の見込がないときは退学を命ずることがある。

(特待生)

第34条 本校に在籍する学生の中で特に成績優秀、品行方正にして本校生の模範となると判断される者、または本校入学時において、その入学しようとする者が特に成績優秀で他の入学生の模範と判断される者に対しては、校長はその一定期間における学費の全額またはその一部を免除することがある。

(健康診断)

第35条 健康診断は、毎年1回実施する。

第8章 科目等履修生

(科目等履修生)

第36条 短期大学、大学等の他の高等教育機関との連携により、当該大学等の学生が、本校の授業科目の一部の履修を希望する場合、当校の運営に支障がない場合に限り、科目履修生として受け入れ、履修を認めることができる。ただし、介護福祉学科の領域『介護』に係る科目履修生の受け入れは行わない。

2 その他、科目履修生に関する事項は、校長が別に定める。

3 入学金、授業料等は別に定めるものとする。

第9章 附帯教育事業

(附帯教育事業)

第37条 本校の附帯教育事業は次のとおりとする。

科 名	修業期間	総定員	備 考
簿記講座	1～12ヶ月	200名	日曜日～土曜日、昼間及び夜間、原則1日3時間
税理士講座	1～12ヶ月	200名	日曜日～土曜日、昼間及び夜間、原則1日3時間
会計士講座	1～12ヶ月	80名	日曜日～土曜日、昼間及び夜間、原則1日3時間
情報処理講座	1～6ヶ月	40名	日曜日～土曜日、昼間及び夜間、原則1日3時間
経営ビジネス講座	1～6ヶ月	40名	日曜日～土曜日、昼間及び夜間、原則1日3時間
介護職員初任者研修	6ヶ月	20名	週1日授業
介護福祉士 実務者研修講座	6ヶ月	448名	週1日授業
介護福祉士 筆記試験対策	6ヶ月	80名	週1～2日授業 平日夜間又は土・日曜日
保育科	4ヶ月	100名	通信講座
医療事務講座	6ヶ月	80名	日曜日～土曜日、昼間及び夜間、原則1日3時間

2 附帯教育事業の入学料、授業料、教材費その他必要な事項は別に定める。

3 附帯教育事業の各科にて運営するVOD講座に関し、必要な事項は別に定める。

第10章 雑 則

(施行細則)

第38条 この学則の施行に関し必要な事項は、校長が別に定める。

附 則

1 この学則は、平成28年4月1日より施行する。

2 第10条第1項の定めにかかわらず、平成28年度の教職員は以下のとおりとする。

(1) 校 長 1名

(2) 教務課長 1名

(3) 教 員 9名

(4) 助 手 2名

(5) 事務職員 2名

3 この学則は、平成29年4月1日より施行する。

4 この学則は、平成30年3月1日より施行する。

5 この学則は、平成30年4月1日より施行する。

6 この学則は、平成31年3月1日より施行する。

7 この学則は、平成31年4月1日より施行する。

8 この学則は、令和 2年4月1日より施行する。

9 この学則は、令和 3年4月1日より施行する。

10 この学則は、令和 4年4月1日より施行する。

11 この学則は、令和 5年4月1日より施行する。

<別表>

第8条(教育課程・授業時間)

別表-1: 経理本科2年制学科

①コンピュータビジネスコース/1年次

授 業 科 目	必選の別	時間数	単位数
一般教養 I	必	30	1
ビジネス教養 I	必	30	1
キャリアデザイン I	必	30	1
キャリアデザイン II	必	30	1
Excel基礎	必	60	2
Excel応用	必	30	1
簿記入門 I	必	30	1
2級商業簿記基礎 I	選	60	2
2級工業簿記基礎 I	選	60	2
2級簿記総合 I	選	120	4
3級商業簿記基礎	選	120	4
3級簿記総合	選	120	4
サービス接遇 I	選	60	2
サービス接遇 II	選	60	2
1級会計学入門 I	選	90	3
1級原価計算入門 I	選	90	3
Power Point基礎	選	60	2
Power Point応用	選	30	1
ITパスポート基礎	選	90	3
ITパスポート応用	選	30	1
ITリテラン	選	30	1
色彩基礎 I	選	60	2
ビジネス文書表現基礎 I	選	60	2
ビジネス文書表現基礎 II	選	60	2
ビジネス文書表現実践 I	選	30	1
国内旅行基礎(業法) I	選	30	1
国内旅行基礎(約款)	選	30	1
国内旅行基礎(運賃) I	選	30	1
国内旅行基礎(地理) I	選	30	1
国内旅行応用 I	選	60	2
1級会計学基礎 I	選	30	1
1級原価計算基礎 I	選	30	1
1級会計学総合 I	選	90	3
1級原価計算総合 I	選	90	3
2級簿記総合 II	選	90	3
2級簿記総合 III	選	90	3
Word基礎	選	60	2
Word応用	選	30	1
言語知識(英会話) I	選	45	2
言語知識(中国語) I	選	60	2
観光英語 I	選	60	2
観光英語 II	選	60	2
旅行業界研究	選	30	1
ホテル業界研究	選	30	1
鉄道業界研究	選	30	1
ホテル概論 I	選	30	1
ホテル実務 I	選	60	2
ホテル実習 I	選	90	3
国内ツアープランニング	選	60	2
ビジネス実務入門	選	30	1
ビジネス実務応用	選	60	2
秘書検定総合	選	30	1
事務キャリアデザイン I	選	30	1
事務キャリアデザイン II	選	30	1
経営管理入門	選	60	2
販売知識基礎	選	90	3
販売知識応用	選	90	3
販売士3級総合	選	60	2
流通キャリアデザイン I	選	30	1
流通キャリアデザイン II	選	30	1
ホテル概論 II	選	30	1
ホテル実務 II	選	60	2
ホテル実習 II	選	90	3
簿記入門 II	選	30	1
2級商業簿記基礎 II	選	90	3
2級工業簿記基礎 II	選	90	3
2級商業簿記応用 I	選	30	1
2級工業簿記応用 I	選	30	1

必は必修科目を表し、選は選択科目を表す。

選択科目より610時間以上、24単位以上を選択必修とする。

①コンピュータビジネスコース／2年次

授 業 科 目	必選の別	時間数	単位数
キャリアデザインⅢ	必	30	1
コミュニケーション概論	必	30	1
コミュニケーション実践	必	30	1
ビジネス教養Ⅱ	必	30	1
一般教養Ⅱ	必	30	1
パソコン実習Ⅰ	必	30	1
パソコン実習Ⅱ	必	30	1
パソコン実習Ⅲ	必	30	1
パソコン実習Ⅳ	必	30	1
ビジネスマナー	必	60	2
接遇ビジネスマナー	必	30	1
販売仕入管理	必	30	1
時事	必	30	1
文化リテラシーⅢ	必	30	1
経営法務入門	選	30	1
英会話入門	選	30	1
英会話基礎	選	30	1
実務会計基礎	選	120	4
実務会計応用	選	60	2
事務職ビジネスマナー	選	90	3
経理実務	選	60	2
給与計算実務	選	60	2
財務会計	選	120	4
FP基礎	選	120	4
FP総合	選	30	1
Excel時短術	選	60	2
ビジネスデータ分析	選	30	1
マーケティング概論	選	60	2
マーケティング基礎	選	60	2
販売職ビジネスマナー	選	90	3
プレゼンテーション	選	30	1
卒業研究	選	180	6
英語	選	60	2
体育	選	60	2
経営学総論	選	60	2
マーケティング研究	選	240	8

必は必修科目を表し、選は選択科目を表す。
 選択科目より400時間以上、16単位以上を選択必修とする。

②情報技術コース／1年次

授 業 科 目	必選の別	時間数	単位数
ITキャリアデザイン I	必	30	1
ITキャリアデザイン II	必	60	2
一般教養 I	必	30	1
IT基礎知識 I	必	90	3
IT基礎知識 II	必	90	3
コンピュータリテラシー	必	30	1
HTML／CSS	必	30	1
Linux	必	30	1
Python I	必	90	3
Python II	必	60	2
データベース I	必	30	1
Pythonフレームワーク	必	120	4
クラウド技術 I	必	60	2
Java	必	60	2
AIクラウドプログラミング	選1	60	2
JavaScript	選1	60	2
AIクラウドプログラミング	選2	60	2
データサイエンス	選2	60	2
ネットワークプログラミング	選3	60	2
サーバ構築	選3	60	2

必は必修科目を表し、選は選択科目を表す。
 選1、選2、選3のいずれかを選択必修とする。

②情報技術コース／2年次

授 業 科 目	必選の別	時間数	単位数
ITキャリアデザインⅢ	必	120	4
Javaフレームワーク	必	90	3
データベースⅡ	必	60	2
先端クラウドシステム開発Ⅰ	選1	60	2
Javaシステム開発	選1	120	4
機械学習プログラミング	選2	60	2
AIシステム開発Ⅰ	選2	120	4
ネットワーク構築Ⅰ	選3	120	4
セキュリティ運用	選3	60	2
ITキャリアデザインⅣ	選4	30	1
アジャイル開発	選4	30	1
オブジェクト指向分析設計	選4	90	3
卒業制作Ⅰ	選4	90	3
卒業制作Ⅱ	選4	90	3
卒業制作Ⅲ	選4	150	5
パソコン実習Ⅰ	選5	30	1
パソコン実習Ⅱ	選5	30	1
パソコン実習Ⅲ	選5	30	1
パソコン実習Ⅳ	選5	30	1
経営法務入門	選5	30	1
英会話入門	選5	30	1
英会話基礎	選5	30	1
実務会計基礎	選5	120	4
実務会計応用	選5	60	2
事務職ビジネスマナー	選5	90	3
経理実務	選5	60	2
給与計算実務	選5	60	2
財務会計	選5	120	4
FP基礎	選5	120	4
FP総合	選5	30	1
Excel時短術	選5	60	2
ビジネスデータ分析	選5	30	1
マーケティング概論	選5	60	2
マーケティング基礎	選5	60	2
販売職ビジネスマナー	選5	90	3
プレゼンテーション	選5	30	1
卒業研究	選5	180	6
英語	選5	60	2
体育	選5	60	2
経営学総論	選5	60	2
マーケティング研究	選5	240	8

必は必修科目を表し、選は選択科目を表す。
 選1、選2、選3のいずれかを選択必修とする。
 選4を選ぶ場合はそのすべての科目を選択必修とする。

③医療事務コース／1年次

授 業 科 目	必選の別	時間数	単位数
医療請求事務基礎Ⅰ	必	60	2
医療請求事務基礎Ⅱ	必	30	1
医療請求事務基礎演習	必	60	2
医療請求事務応用Ⅰ	必	60	2
医療請求事務応用Ⅱ	必	30	1
医療請求事務応用演習	必	30	1
医療秘書実務基礎Ⅰ	必	60	2
医療秘書実務基礎Ⅱ	必	30	1
医療秘書実務基礎演習	必	30	1
医療秘書実践Ⅰ	必	30	1
医療秘書実践Ⅱ	必	60	2
医療秘書実践Ⅲ	必	30	1
手話演習	必	30	1
一般教養Ⅰ	必	30	1
キャリアデザインⅠ	必	30	1
医療キャリアデザインⅠ	必	30	1
医療キャリアデザインⅡ	必	30	1
医療秘書実務応用Ⅰ	必	30	1
医療秘書実務応用Ⅱ	必	30	1
医療秘書実務応用演習	必	30	1
診療報酬基礎	選	30	1
診療報酬応用Ⅰ	選	60	2
診療報酬応用Ⅱ	選	60	2
診療報酬演習	選	60	2
患者接遇論Ⅰ	選	30	1
病院実習Ⅰ	選	60	2
病院研究	選	30	1
患者接遇論概論	選	30	1
病院実習Ⅱ	選	60	2
ビジネス教養Ⅰ	選	30	1
医療キャリアデザインⅢ	選	60	2
ビジネス文書作成	選	30	1
一般教養Ⅱ	選	30	1
医事コンピュータⅠ	選	30	1
医事コンピュータ実習Ⅰ	選	30	1

必は必修科目を表し、選は選択科目を表す。
 選択科目より100時間以上、6単位以上を選択必修とする。

③医療事務コース／2年次

授 業 科 目	必選の別	時間数	単位数
医療秘書実践Ⅳ	必	60	2
キャリアデザインⅡ	必	30	1
キャリアデザインⅢ	必	30	1
医療秘書実践Ⅴ	必	60	2
ビジネス教養Ⅱ	必	30	1
接遇論マナー実践	必	60	2
医療ビジネスマナーⅠ	必	30	1
請求事務実践Ⅰ	必	30	1
医療ボランティア実践Ⅰ	選1	30	1
医療ボランティア実践Ⅱ	選1	60	2
病院実習Ⅲ	選1	60	2
病院実習Ⅳ	選1	60	2
医事コンピュータⅡ	選2	30	1
医事コンピュータ実習Ⅱ	選2	30	1
医学・医療用語	選2	60	2
医療関連施設見学	選2	30	1
医療関連法規	選2	60	2
医療キャリアデザインⅣ	選3	30	1
医療ボランティア概論	選3	30	1
医薬品知識	選3	30	1
調剤報酬請求事務	選3	60	2
調剤報酬請求事務演習	選3	30	1
医療キャリアデザインⅥ	選3	30	1
こころとからだのしくみと生活支援	選3	60	2
ケア計画基礎論	選3	60	2
医療・美容クリニック実践Ⅰ	選3	60	2
医療・美容クリニック実践Ⅱ	選3	60	2
Excel基礎	選3	60	2
Excel応用	選3	30	1
簿記入門Ⅰ	選3	30	1
3級商業簿記基礎	選3	90	3
3級簿記総合	選3	120	4
2級商業簿記基礎Ⅰ	選3	60	2
2級工業簿記基礎Ⅰ	選3	60	2
2級簿記総合Ⅰ	選3	120	4
IT基礎知識Ⅰ	選3	90	3
IT基礎知識Ⅱ	選3	90	3
IT基礎知識Ⅲ	選3	90	3
IT基礎知識Ⅳ	選3	120	4
IT基礎知識Ⅴ	選3	60	2
ビジネスマナー	選3	60	2
医療ビジネスマナーⅡ	選3	30	1
請求事務実践Ⅱ	選3	30	1
社会保険基礎論	選3	30	1
医学知識	選3	30	1
パソコン実習Ⅰ	選3	30	1
病院実習Ⅴ	選3	60	2
病院実習Ⅵ	選3	60	2
病院実習Ⅶ	選3	30	1
病院実習Ⅷ	選3	60	2

必は必修科目を表し、選は選択科目を表す。

選択1または選択2のいずれかを選択必修とする。

選択3より310時間以上、13単位以上を選択必修とする。

④税理士コース／1年次

授 業 科 目	必選の別	時間数	単位数
簿記入門Ⅰ	必	30	1
一般教養Ⅰ	必	30	1
ビジネス教養Ⅰ	必	30	1
キャリアデザインⅠ	必	30	1
2級商業簿記基礎Ⅰ	選	60	2
2級工業簿記基礎Ⅰ	選	60	2
2級簿記総合Ⅰ	選	90	3
3級商業簿記基礎	選	120	4
3級簿記総合	選	120	4
1級会计学入門Ⅰ	選	90	3
1級原価計算入門Ⅰ	選	90	3
1級会计学基礎Ⅰ	選	30	1
1級原価計算基礎Ⅰ	選	30	1
1級会计学総合Ⅰ	選	90	3
1級原価計算総合Ⅰ	選	90	3
2級商業簿記基礎Ⅱ	選	90	3
2級工業簿記基礎Ⅱ	選	90	3
2級商業簿記応用Ⅰ	選	30	1
2級工業簿記応用Ⅰ	選	30	1
簿記論入門Ⅰ	選	30	1
財務諸表論入門Ⅰ	選	30	1
簿記論入門Ⅱ	選	90	3
財務諸表論入門Ⅱ	選	90	3
簿記論基礎Ⅰ	選	120	4
財務諸表論基礎Ⅰ	選	120	4
簿記論基礎Ⅱ	選	120	4
財務諸表論基礎Ⅱ	選	120	4
消費税法入門Ⅰ	選	30	1
消費税法基礎Ⅰ	選	120	4
消費税法入門Ⅱ	選	90	3
国税徴収法基礎Ⅰ	選	60	2
ビジネス実務入門Ⅰ	選	30	1
ビジネス実務応用Ⅰ	選	60	2
全経簿記上級総合Ⅱ	選	120	4
1級会计学入門Ⅱ	選	60	2
1級原価計算入門Ⅱ	選	60	2

必は必修科目を表し、選は選択科目を表す。
 選択科目より730時間以上、27単位以上を選択必修とする。

④税理士コース／2年次

授 業 科 目	必選の別	時間数	単位数
キャリアデザインⅡ	必	30	1
簿記論応用Ⅱ	必	60	2
財務諸表論応用Ⅱ	必	60	2
簿記論総合Ⅱ	必	180	6
財務諸表論総合Ⅱ	必	180	6
一般教養Ⅱ	必	30	1
ビジネス教養Ⅱ	必	30	1
経理実務	必	60	2
給与計算実務	必	60	2
国税徴収法総合Ⅰ	選	90	3
簿記論入門Ⅲ	選	30	1
財務諸表論入門Ⅲ	選	30	1
消費税法入門Ⅲ	選	30	1
相続税法入門Ⅲ	選	30	1
法人税法入門Ⅲ	選	30	1
簿記論基礎Ⅲ	選	120	4
財務諸表論基礎Ⅲ	選	120	4
消費税法基礎Ⅱ	選	120	4
相続税法基礎Ⅱ	選	120	4
法人税法基礎Ⅱ	選	120	4
簿記論基礎Ⅳ	選	30	1
財務諸表論基礎Ⅳ	選	30	1
消費税法基礎Ⅲ	選	30	1
相続税法基礎Ⅲ	選	30	1
法人税法基礎Ⅲ	選	30	1

必は必修科目を表し、選は選択科目を表す。
 選択科目より160時間以上、8単位以上を選択必修とする。

別表-2:ビジネス専攻学科

授 業 科 目	必選の別	時間数	単位数
Excel基礎	必	60	2
経営法務入門	選1	30	1
コミュニケーション概論	選1	30	1
コミュニケーション実践	選1	30	1
一般教養Ⅱ	選1	30	1
ビジネス教養Ⅱ	選1	30	1
パソコン実習Ⅱ	選1	30	1
パソコン実習Ⅲ	選1	30	1
パソコン実習Ⅳ	選1	30	1
事務職ビジネスマナー	選1	30	1
経理実務	選1	60	2
給与計算実務	選1	30	1
財務会計	選1	90	3
販売仕入管理	選1	30	1
時事	選1	30	1
文化リテラシーⅢ	選1	30	1
簿記論入門Ⅲ	選2	30	1
簿記論基礎Ⅲ	選2	120	4
簿記論基礎Ⅳ	選2	30	1
財務諸表論入門Ⅲ	選3	30	1
財務諸表論基礎Ⅲ	選3	120	4
財務諸表論基礎Ⅳ	選3	30	1
消費税法入門Ⅲ	選4	30	1
消費税法基礎Ⅱ	選4	120	4
消費税法基礎Ⅲ	選4	30	1
相続税法入門Ⅲ	選5	30	1
相続税法基礎Ⅱ	選5	120	4
相続税法基礎Ⅲ	選5	30	1
法人税法入門Ⅲ	選6	30	1
法人税法基礎Ⅱ	選6	120	4
法人税法基礎Ⅲ	選6	30	1

必は必修科目を表し、選は選択科目を表す。

選1を選んだ場合は、選2から選6のうち2つ以上を選択必修とする。

選1を選ばない場合は、選2から選6のすべてを選択必修とする。

別表-3:介護福祉学科/1年次

領域	授業科目	必選の別	時間数	単位数
人間と社会	人間の理解Ⅰ	必	30	1
	人間の理解Ⅱ	必	60	2
	社会の理解	必	60	2
	人間と社会特論Ⅰ	選	30	1
介護	介護の基本Ⅰ	必	30	1
	介護の基本Ⅱ	必	30	1
	介護の基本Ⅲ	必	30	1
	介護の基本Ⅳ	必	30	1
	介護の基本Ⅴ	必	30	1
	介護の基本Ⅵ	必	30	1
	コミュニケーション技術Ⅰ	必	30	1
	生活支援技術の基本	必	60	2
	日常生活介護Ⅰ	必	30	1
	日常生活介護Ⅱ	必	30	1
	日常生活介護Ⅳ	必	30	1
	介護過程Ⅰ	必	30	1
	介護総合演習Ⅰ	必	40	2
	介護総合演習Ⅱ	必	40	2
	介護実習Ⅰ	必	120	3
	介護実習Ⅱ	必	160	4
	介護特論Ⅰ	選	30	1
	介護特論Ⅱ	選	30	1
	介護特論Ⅲ	選	30	1
	介護実践Ⅰ	選	30	1
介護実践Ⅱ	選	30	1	
こころとからだのしくみ	認知症の理解	必	60	2
	こころとからだのしくみⅠ	必	30	1
	こころとからだのしくみⅡ	必	30	1
	こころとからだのしくみⅢ	必	30	1
	こころとからだのしくみ特論Ⅰ	選	30	1
年間時間及び単位数			1050時間以上	34単位以上

必は必修科目を表し、選は選択科目を表す。

選は、任意選択とする。

介護福祉学科／2年次

領域	授 業 科 目	必選の別	時間数	単位数
人間と 社会	レクリエーション基礎	必	30	1
	レクリエーション指導	必	40	2
	社会常識	必	30	1
	情報科学演習	必	30	1
	人間と社会の総合	必	30	1
	人間と社会特論Ⅱ	選	30	1
	福祉実務	選	30	1
介護	コミュニケーション技術Ⅱ	必	30	1
	福祉住環境Ⅰ	必	30	1
	家事介護	必	30	1
	日常生活介護Ⅲ	必	30	1
	日常生活介護Ⅴ	必	30	1
	利用者の状態・状況に応じた介護技術	必	30	1
	介護過程Ⅱ	必	60	2
	介護過程Ⅲ	必	60	2
	介護総合演習Ⅲ	必	40	2
	介護実習Ⅲ	必	176	4
	介護の総合	必	90	3
	介護特論Ⅳ	選	30	1
	福祉住環境Ⅱ	選	30	1
	介護実践Ⅲ	選	30	1
	介護実践Ⅳ	選	30	1
こころと からだの しくみ	発達と老化の理解	必	60	2
	障害の理解	必	60	2
	こころとからだのしくみⅣ	必	30	1
	こころとからだのしくみの総合	必	30	1
	こころとからだのしくみ特論Ⅱ	選	30	1
医療的ケア	医療的ケア	必	78	3
年間時間及び単位数			1024時間以上	34単位以上

必は必修科目を表し、選は選択科目を表す。
選は、任意選択とする。

別表-4: こども保育学科/1年次

授 業 科 目		必選の別	時間数	単位数
教養科目	健康科学	必	15	1
	スポーツ(実技)	必	30	1
	英語コミュニケーションⅠ	選1	60	2
	一般教養	選1	30	2
	ビジネス教養	選1	30	2
	情報リテラシーと処理技術	選1	60	2
	憲法	選1	30	2
目的保育に関する本質科・目	保育原理	必	30	2
	保育原理Ⅱ	選2	30	2
	子ども家庭福祉	必	30	2
	子ども家庭福祉Ⅱ	選2	30	2
	社会福祉	必	30	2
	社会的養護Ⅰ	必	30	2
	保育者論	必	30	2
関連科目	子どもの理解と援助	必	30	1
保育の内容・方法に関する科目	保育内容総論	必	30	1
	保育内容(健康)	必	30	1
	保育内容(人間関係)	必	30	1
	保育内容(環境)	必	30	1
	保育内容(言葉)	必	30	1
	保育内容(表現)	必	30	1
	乳児保育Ⅰ	必	30	2
	子どもの健康と安全	必	30	1
	言語表現	必	30	1
	造形表現Ⅰ	必	30	1
	音楽とリズム	必	30	1
	レクリエーション概論	選2	30	2
	レクリエーション指導法	選3	60	2
	児童レクリエーション概論	選2	30	2
	こどもと音楽	選2	15	1
	鍵盤奏法の基礎	選3	60	2
実保育	保育実習Ⅰ①	必	80	2
	保育実習指導Ⅰ①	必	30	1
独自科目	コミュニケーション論	選4	30	1
	コミュニケーション論Ⅱ	選4	30	1
	キャリア教育Ⅰ	選4	30	2
	キャリア教育Ⅱ	選4	30	2
	キャリア教育Ⅲ	選4	30	2
	保育インターンシップⅠ	選4	30	1
	保育インターンシップⅡ	選4	30	1
年間時間及び単位数			860時間以上	39単位以上

必は必修科目を表し、選は選択科目を表す。

選1は、6単位以上を選択必修とする。

選2は、3単位以上を選択必修とする。

選3は、2単位以上を選択必修とする。

選4は、任意選択とする。

こども保育学科／2年次

授 業 科 目		必選の別	時間数	単位数
科すに目質の保 目る関的・本育	教育原理	必	30	2
	子ども家庭支援論	必	30	2
解保 に育 関の 対 する 象 科の 目理	子どもの食と栄養	必	60	2
	保育の心理学	必	30	2
	子ども家庭支援の心理学	必	30	2
	子どもの保健	必	30	2
	こども学概論	選2	30	2
	子どもの理解と援助Ⅱ	選2	30	1
保 育 関 の 内 容 科・方 法に	保育の計画と評価	必	30	2
	乳児保育Ⅱ	必	30	1
	障害児保育	必	60	2
	社会的養護Ⅱ	必	30	1
	子育て支援	必	30	1
	保育方法論	選1	60	2
	身体表現	必	30	1
	小児体育	選2	30	1
	造形表現2	選1	60	2
	音楽表現1	選2	30	1
	鍵盤奏法の応用	選1	60	2
実保 習育	保育実習Ⅰ②	必	80	2
	保育実習指導Ⅰ②	必	30	1
	保育実習Ⅱ	必	80	2
	保育実習指導Ⅱ	必	30	1
総合演習	保育実践演習	必	60	2
独 自 科 目	卒業研究	選3	30	1
	コミュニケーション論Ⅲ	選3	30	1
	キャリア教育Ⅳ	選3	30	2
	保育インターンシップⅢ	選3	30	1
	保育インターンシップⅣ	選3	30	1
年間時間及び単位数			850時間以上	33単位以上

必は必修科目を表し、選は選択科目を表す。

選1は、4単位以上を選択必修とする。

選2は、1単位以上を選択必修とする。

選3は、任意選択とする。

別表-5:保育専攻学科

授 業 科 目	必選の別	時間数	単位数
一般教養 I	必	30	1
キャリアデザイン I	必	30	1
キャリアデザイン II	必	30	1
保育キャリアデザイン	必	30	1
パソコン演習	必	30	1
図画工作	必	30	1
音楽・リズム表現 I	必	30	1
実習事前指導	必	30	1
保育・幼稚園実習	必	60	2
小児援助技術 I	必	60	2
小児援助技術 II	必	60	2
医学と疾病	必	30	1
ボランティア実践	必	60	2
障害児(者)援助論	必	30	1
保育実践演習 I	必	60	2
保育実践演習 II	必	60	2
保育実践演習 III	必	30	1
卒業研究	必	30	1
児童レクリエーション I	選	30	1
児童レクリエーション II	選	30	1
発達心理学	選	30	1
養護内容	選	30	1
音楽・リズム表現 II	選	30	1
音楽・リズム表現 III	選	30	1
健康スポーツ実践 I	選	30	1
健康スポーツ実践 II	選	30	1
保育相談支援	選	30	1
表現と言葉	選	30	1
地域子育て支援	選	30	1
保護者と家庭支援	選	30	1
ビジネスマナー実践	選	30	1
	年間時間及び単位数	930時間以上	31単位以上

必は必修科目を表し、選は選択科目を表す。

選は、7単位以上を選択必修とする。